

低温食品業界をリードする情報誌

日刊速報

冷食タイムス



The Frozen Food Times

発行所 株式会社水産タイムズ社
編集発行人 越川宏昭
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6
TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416
ホームページ <https://suisantimes.co.jp/>
e-mail reisyoku@suisantimes.co.jp
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)
購読料 1カ月 5,280円(税別 4,800円)
6カ月 31,680円(税別28,800円)

2021年(令和3年)
11月19日(金)第8551号

ヤグチ栗栖社長「“強いメニュー” づくり支援」

ヤグチの栗栖信也社長は17日開催した展示会に当たり、記者会見で同展開催のねらいや今後の外食市場の動向予測などを語った。この中で栗栖社長は展示会のテーマにカレーを選んだ背景として「厳しい環境下でも予約が取りにくい繁盛店がある。これは利用客が圧倒的に支持している“強いメニュー”を持っているから。今後は外食店の“強いメニュー”づくりを支援する取り組みが重要。そのきっかけとして今回、カレーをテーマに選んだ。カレーはライスにかけるだけでなく、工夫すれば様々なメニューができることを示した」と説明した。



栗栖社長(右)と萩原専務

会見には萩原啓太郎取締役専務執行役員も同席した。萩原氏は8月専務に昇格した。

展示会について栗栖社長と萩原専務は①19年秋以来、20年春、20年秋、21年春を飛ばして2年ぶりの開催②首都圏の卸店に1社2名以内の来場を呼び掛け、従来のユーザー客は招かなかつた③ブースの間を空け、従来より少ない183社の参加となった④従来は3000人規模の来場だったが、今回は500人を予想⑤卸店の来場は出足が良く、実会場開催に対する期待の高さを感じた――と語った。

また萩原専務は「これまで出展社数、来場者数など規模を追っていたが、今回は商品との接点、見やすさ、商談の濃さなど中身にこだわった。今後の展示会のあり方も見直す必要がある」と指摘した。栗栖社長は値上げが相次ぐことにもコメントした。

来春の展示会は3月16日、都立産業貿易センター浜松町館で開催する。

外食市場、戻っても8割程度か

栗栖社長と萩原専務は宣言解除後の外食市場について「戻ってもコロナ前の8割程度か」と捉え方を示した。コロナに伴い同社の外食向けは70~75%に売上げ減を強いられていたが、宣言解除を経て80~85%程度に回復を見込む。ただし解除後の需要の戻りは鈍く「消費者の外食利用マインドは思ったほど戻っていないようだ」(萩原専務)。さらに「外食市場24兆円のうち4兆円あったインバウンド需要が消えた。これが戻らない限りコロナ前までの市場の回復は難しい」(栗栖社長)と見る。

同社の売上げに占める外食比率は6割。そこで「外食以外の加工原料販売、老健・病院、キャッシュアンドキャリー、惣菜など4割の部分に力を入れざるを得ない」(栗栖社長)。

今期売上げは前年並で推移しているが、前々年比では85%程度とまだ厳しい。

- 松屋、牛めしの具など冷凍自販機で販売…… 2
- ニチレイF、焼おにぎり2品新発売……… 2
- 味の素冷凍食品、「洋食亭」2品増量……… 2
- パンフォーユー、ギフト券サービス開始…… 2
- アラハタ、家庭用製品を2月から値上げ…… 2
- 日冷倉協、議連で予算編成・税制改正要望… 3
- 米ロス港の混雑に改善の兆し、ジェットロ… 3
- ☆社告「第3回冷食WEBセミナー開催」… 3

- バンコクの洪水はまだ限定的、ジェットロ…… 4
- 石光商事10月の食品前年並、累計6%増…… 4
- ADEKA、原料高騰で食品増収減益……… 4

あしからず

総取扱高2倍、それでも赤字のワケ…… 4